

水シター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水シター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

1. 関西管内の気象および水源状況 1p
2. 布目ダム水源地ツアー開催される！ 2p
3. 水道業務体験研修に参加して 3p
4. 疑問?に答えるコーナー ラスパイレス指数って? 5p
5. 機構からの出向者紹介 6p
6. 『巨大ダムの建設と施工・運用機械設備及びものづくり技術の感動』
と題して、原支社長が講演 7p
7. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』をご紹介 7p
8. 高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会が開催される 8p
9. 国土技術研究会で優秀賞を受賞！ 8p
10. 「水都おおさか森林(もり)の市2012」で機構事業をPR 9p
11. ダムなどの水源地周辺の“紅葉の見所”を紹介 9p
12. 水源地マラソン紀行(その5) 10p

編集後記



1. 関西管内の気象および水源状況

10月の降水量については、関西管内の全ての水源において平年値を下回りましたが、10月17～18日および23日にまとまった降雨があった影響で、各水源では、非洪水期に入った10月16日から貯水位が上昇しております。また、青蓮寺ダムでは、10月16日から貯留に努め、10月末に平常時最高貯水位付近に達しました。

なお、高山ダムでは、放流設備の整備工事のため、10月25日から貯水位を標高125.00m付近に維持し、室生ダムでは、副ダムの堆積土砂除去工事のため、10月16日から貯水位を標高287.00m付近に維持し、また、同様な理由により、布目ダムにおいても、10月24日から貯水位を標高281.00m付近に維持しています。

～ 水資源機構(関西管内)の水源状況 ～

平成24年11月12日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	124.93	2,683	54.5	91	115
青蓮寺ダム	276.45	1,861	97.4	95	131
室生ダム	287.24	639	44.7	124	130
布目ダム	280.71	1,008	65.4	98	125
比奈知ダム	297.55	1,288	84.2	100	166
一庫ダム	136.99	1,467	54.7	75	119
日吉ダム	181.62	2,083	57.9	70	143
琵琶湖	B.S.L. -33cm ^{※1}	—	—	92.8	128
7ダム 合計	—	11,029	62.6%	—	—

※1 琵琶湖水位は、11月12日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、10月1日～31日までの累計値で、

琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigenn/suigenn.html>

2. 布目ダム水源地ツアー開催される!

平成24年10月23日、シトシトと降るあいにくの天候の中、木津川ダム総合管理所主催で初めての水源地ツアーを開催し、奈良市周辺に在住の市民の方17名の参加をいただきました。

水源地ツアーは、平成23年に布目ダムが管理開始後20年を迎えた一つの節目として、水源地と、水を利用される奈良市の方々との絆を深めることを目的として、布目ダムの主要な水源(布目川・白砂川)がどのように確保されているかを理解していただくことと、浄水場、ダム、水源地等の見学や水源地で実施されている保全活動などを紹介することにより、水源地への感心を高めていただき、今後、さまざまな視点から水源地との関わりや発展的な活動へと繋がっていくことを願い企画しました。

水源地ツアーは、参加された皆様の身近な水道から水源を巡る形で行いました。

最初は、奈良市水道局の緑ヶ丘浄水場において、水道水が出来る過程を見学していただきました。次に、奈良市水道局の貴重な水瓶である須川ダムについて構造や役割を学んでいただきました。さらに、布目ダム下流の奈良市水道局の取水堰である布目川取水堰を見学し、緑ヶ丘浄水場まで須川ダム経由で10kmも水を運んでいる自然流下導水路など、効率的に水を貯水・導水している仕組みを見ていただき、布目ダムへ行って、巨大な常用洪水吐きや、水力発電設備などを見学していただきました。

ツアーの締めくくりは、都祁水分神社^{つげみくまり}。この神社は、流水の分配を掌る神で、分水嶺を祀る神様です。延喜式^{えんぎしき}*1にも大和の四水分社(葛城・吉野・宇陀・都祁)として明記されています。ここでは、大和高原文化の会の会長植村勝彌氏に神社の歴史を語っていただきました。なお、植村氏は、このツアーを企画し、流域の文化と歴史を調べていた際に、地元公民館から紹介いただいた方です。



緑ヶ丘浄水場 (奈良市水道局)



須川ダム (奈良市水道局)



布目ダム管理所



都祁水分神社

今回のツアーは奈良市水道局、山添村、大和高原文化の会と協働の企画立案により実現したものです。ツアーを実施するにあたり、お世話になった多くの皆様へ、あらためて御礼を申し上げます。参加していただいた方々の評判も上々で、今後もこの水源地ツアーを継続して実施することで、水道施設や水源への愛情や思いをなお一層深めていただくきっかけになれば幸いです。

(木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所)

※1 延喜式(えんぎしき):

平安初期に編修された律令の施行細則、宮内の年中儀式や制度などが記されている。

3. 水道業務体験研修に参加して

平成24年10月15日～19日までの5日間にわたり、大阪広域水道企業団村野浄水場の皆様のご協力により、水道業務を体験し、取水施設・浄水施設・送水管理・水質監視等の役割や効果について、浄水場の職員皆様から講義をいただきました。

水道業務体験研修は、平成18年から機構の人材育成の一環として実施されている研修であり、水道事業の実情を身をもって知ることによって、水道事業者の視点を理解し、将来の業務遂行の礎とすることを目的としています。

今年度は6名の職員が研修に参加し、出席者が研修を通じて学んだことや感じたことについて、ご報告させていただきます。



村野浄水場（屋上）に集まる研修生
（左から、濱名、松高、松津、子川、脇谷、霜村）

■関西支社 中津川管理室 脇谷 渉

研修では、浄水場の施設を目の前にして講義を受け、設備の大きさや役割など非常にインパクトがあり、大変貴重な体験をさせていただきました。

中でも一番印象に残ったことは、浄水場の職員ひとり一人が自らの業務を確実に理解されているため、説明内容が簡潔明瞭で非常に理解しやすかったことです。

逆の立場で、私が担当している業務を説明しようとしたら、皆様のように聞く人が理解していただける説明ができるのか自信がありませんが、今後、聞いている方が理解しやすいような説明を心掛けます。

■琵琶湖開発総合管理所 総務課 子川 遥香

村野浄水場の規模の大きさに驚きました。また、今回の研修では普段見学できないような、ろ過池の洗浄などを見ることができ、興味深く研修を受講させていただきました。

一番印象に残っていることとして、水道用水を供給するにあたり、水質の改善など様々な取組や苦労を経ながら各家庭に送り出していることを勉強でき、大変有意義であったと感じています。

また、浄水処理場は各家庭に水を送り出す“最後の砦（最終施設）”であるため、施設（ハード）的にも二重三重の系統や水質（ソフト）的にも同様にチェックされている点が、常に危機管理に直面していると感じ、良い刺激を受けました。

■川上ダム建設所 第二用地課 松高 遼

入社してから現在まで、利水者の方々と接する機会が少なかったので、この研修を通じて、利水者の方々と知り合い、施設を間近に接することができて、良い経験となりました。

今回の研修では、取水から給水まで“水の流れ”に沿って講義があったので、浄水場の業務が大変理解しやすかったです。

水資源機構の経営理念に基づき、利水者の皆様が求めるような水を供給できるよう、水源の水質管理を行っていかねばならないと感じました。あわせて、私は事務職ですが、研修を受講して、技術系の業務に無関心のように、緊急時の対応等に支障をきたし兼ねないと感じました。今後は、技術系の業務についても、積極的に関わって行きたいと思えます。

■木津川ダム総合管理所 機械課 しもむら あまひさ 霜村 明久

今回の研修は、取水～浄水処理～配水という順で、水の流れに沿って研修が進められたため、浄水の過程が大変理解しやすかったです。一番印象に残っていることとして、浄水場の職員の方々は、村野浄水場の広大な敷地内にある様々な施設や設備をくまなく把握し、維持管理、運用されてしている姿に感銘を受けました。

木津川ダム総合管理所は5ダム（高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム）を管理していますが、今後もなお一層、各施設の役割や機能を十分把握し、管理・運用を行っていきたいと思えます。また、下流域で取水されている利水者の皆様の立場に立って、水源地（ダム）の管理を行っていきたいとも感じました。

■木津川ダム総合管理所 青蓮寺ダム管理所 あなつ こうじ 船津 浩司

最先端の浄水技術である「活性炭+オゾン処理」といった高度浄水処理を学ぶことができ、大変勉強になりました。

今回の研修を受講して、水源の水質を管理する立場として何ができるのかと考えたとき、直下流の河川環境を考慮することも大切であるが、少しでも浄水場が処理しやすいような水を送り出すことも大切であると知見が新たになりました。



水質測定（試験）をする研修生

■木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所 はまな みちのり 濱名 通徳

村野浄水場は、広範囲でとても設備が多く管理が大変だと思いますが、職員の方々が隅々まで良く把握されていると感じました。水質に関しては、水源（ダム）でも水質観測は行っていますが、浄水場ではダムと比較にならないほど、非常に多くの項目を測定していることに驚き、また、機構ではまだ実施されていない取組もたくさんありましたので、機構の取り組みも紹介させていただきながらお互いの良いところを取り入れることが出来れば良いと思いました。



浄水処理設備の説明を受ける研修生

最後となりましたが、大阪広域水道企業団の皆様におかれましては、大変お忙しい中、施設の説明や水道に関する講義を丁寧にしていただきまして、誠にありがとうございました。

4. 疑問?に答えるコーナー

ラスパイレス指数って?

Q&A

平成24年7月11日に機構のホームページにおいて公表された「独立行政法人水資源機構の役職員の報酬・給与等」のうち、ラスパイレス指数のほか、給与抑制措置などについてお答えします。

Q ラスパイレス指数って?

A 機構の年間平均給与額を、同様な職種や経歴に相当する国家公務員の年間平均給与額を100とした場合に算出される指数です。

なお、機構の平成23年度のラスパイレス指数は、対国家公務員(行政職(一))112.1(対前年度△0.5ポイント)となりました。

Q 機構と国家公務員の給与をなぜ比較するの?

A 機構では、国家公務員の給与水準は、人事院勧告により民間企業の給与水準と均衡したものであると認識しています。このため機構と国家公務員の給与水準を比較することは、間接的に民間企業の給与水準との比較でもあると考えています。

Q ラスパイレス指数の比較対象となる給与は、本給の外にどのような手当が含まれるの? 地方公共団体より機構のラスパイレス指数が高いのはなぜ?

A 機構のラスパイレス指数については、本給のほかに扶養手当、単身赴任手当、職責手当や業績手当などの固定給の年間平均給与額が比較対象となります。

また、地方公共団体のラスパイレス指数については、平均本給月額のみを比較対象としていることから、機構の比較対象と異なり、単純に指数のみで比較することは出来ないと考えられます。

Q 平成24年度の給与抑制措置の取り組みは?

A 平成24年度については、以下の給与抑制等の措置を講じています。

- ・ 職員本給の5%カット(平成17年度から実施)
- ・ 地域手当の20%カット、地域手当の異動保障の凍結(平成22年度から実施)
- ・ 昇給の停止など(平成23年度から実施)

また、その他の措置として、政府が東日本大震災の復興財源として実施した「国家公務員の給与の臨時特例措置」について、機構においても同様な措置に準じて本年7月(本年4月に遡って)から平成26年3月末まで実施しています。(職員の本給月額の等級毎に減額率を定め、職員本給の4.77%~9.77%をカット(平成24年4月から同年6月までのカット分については、7月期業績手当にて調整)、職員の職責手当を10%カット、職員の業績手当を9.77%カットなど)

◎「疑問?に答えるコーナー」に取り上げて欲しい疑問がありましたらご遠慮なくお知らせ下さい。

(関西支社 利水者サービス課)

5. 機構からの出向者紹介

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所の用地第二課で働く『高橋 重樹さん』を紹介いたします。

高橋さんは、平成10年に水資源開発公団に入社し、今年の4月に愛知用水総合管理所から現在の事務所に出向して、桂川改修事業に伴う用地買収などの業務を主に担当しています。

高橋さんが所属する用地第二課では、京都市の南部で実施している一級河川桂川改修^{おおしも}大下津地区引堤事業（淀大下津・淀水垂・淀樋爪^{おおしもづ みづたれ ひづめ}地区）に係る引堤に必要な土地の取得を行っています。現在、担当している淀樋爪地区は、事務所から自動車で40分程度離れた場所に位置しており、多い時期には、休日・夜間問わず、ほぼ毎日、地権者および関係者に対しての地元説明や交渉に行っていたそうです。

桂川改修事業は、昭和46年の淀川水系工事实施基本計画の改定を受け、引堤事業が策定されたものであり、昭和54年に地元説明を行ってから、長期にわたっている事業のため、地権者に説明のうえ理解を得るのに工夫されているとのことですが、水資源開発公団（現水資源機構）に入社してから用地関連の業務を主として担当した経験を活かし、現在の業務に取り組まれており、過去の経験が非常に役立っているとのこと。

また、問題や課題については課内で気兼ねなく相談できる方々がおられ、職場環境は極めて良好とのこと。

通常の仕事以外の仕事では、大雨が降ったときの内水被害を防止するために、担当となる木津川に設置してある救急排水設備のポンプ運転の操作も行うことがあるそうです。ちなみに、今年度は6～9月にかけて4回の出勤がありました。

趣味は、4年ほど前からマラソンを始めたそうで、それをきっかけに、当時吸っていたタバコをキッパリ止めたそうです。現在では、年間3～4回大会に出場しており、今シーズンも、岐阜県で開催される『いびがわマラソン』や愛知県の『名古屋シティマラソン』のハーフマラソンにエントリーしているとのこと。今年は、1時間40分を切ることが目標みたいです。

その他の趣味も多彩で、高校時代は弓道（参段）、学生時代にはライフセービング活動に没頭し、就職してからは、スキューバダイビングや登山もやる。という、そんなバイタリティのある高橋さんですが、持ち前のパワーと信念を貫く熱い心で、今後も体調を崩すことがないよう頑張っていただけだと思います。

（関西支社 利水者サービス課）

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載して参ります。



淀川河川事務所に勤務する高橋さん



6. 「巨大ダム建設と施工・運用機械設備及びものづくり技術の感動」と題して、原支社長が講演 ～大阪電気通信大学 機械工学フォーラムが開催される!!～

10月10日（水）に、大阪府寝屋川市にある大阪電気通信大学で、「日本発ものづくりとグローバル事業展開」と題した『機械工学フォーラム（産学連携公開講座）』が開催され、水資源機構関西支社の原支社長が講演されました。

このフォーラムは、最先端の技術を学生に提供し、産学の連携を深めることを目的として、パナソニック、新日本製鐵、日立造船などの役員により、平成25年1月9日まで毎週水曜日、全11回行われ、国内外のハード・ソフト・環境について幅広く講演されます。

今回の講演では、巨大コンクリートダムの建設について、ダム本体施工機械に着目し、ダムの施工は巧妙かつ堅実な機械設備が不可欠であること、およびダム工学は総合工学であり、土木工学と機械工学の融合、さらに社会科学との融合が必要であることを力説されました。



講演する原関西支社長

また、自らの経験に照らし合わせて「西堀栄三郎」氏の「技師道15ヶ条」、「西堀いろはかるた」を紹介し、現場に足繁く出向き、感性を磨くとともに技術の感動を受発信することの大切さを若い技術者に講演しました。

講演に参加した学生や一般の方々からも、ダム施工機械やダムの設計手法などについて、活発な意見や質問が寄せられました。

（関西支社 利水者サービス課）

7. 「仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）」の紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀栄三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に習い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』を紹介いたします



今回は、『の』、『お』、『く』です。

8. 高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会が開催される

10月22日、月ヶ瀬村役場において高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会が開催されました。水源地域ビジョンとは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図ることを目的として、ダム水源地域の自治体、住民や関係する団体等がダム事業者・管理者と共同で策定した行動計画（「水源地域ビジョン計画」）に基づく実施状況や実施計画について情報を共有し、必要に応じて内容等の見直しを行うものです。

今回の高山ダムの実行連絡会では、湖面利用規則の変更、ダム周辺の不法投棄対策のルール化について討議され、事務局案が全会一致で承認されました。関西支社では今後とも「水レター」を通じて水源地域の活性化につながる水源地域の積極的な情報提供に努めてまいります。

（関西支社 利水者サービス課）

9. 国土技術研究会で優秀賞を受賞！！

平成24年10月25日（木）、26日（金）に、国土交通省本省において国土技術研究会が開催されました。

国土技術研究会は、国土交通省所管の住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、国土交通省が所管する住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催されました。

水資源機構関西支社管内からの発表は、『新たな曝気装置の開発「水没式複合型曝気装置※」の実現報告』と題して日吉ダム管理所から佐藤友宣さんが発表し、イノベーション部門において優秀賞を受賞されました。

イノベーション部門とは、国土交通省が所管する社会資本の整備にあたり、建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全等、諸課題の解決に資する、官・民間等で開発された設計・施工等に関する優れた技術を公共事業において活用された事例、建設生産性向上（入札・契約の工夫、新技術の活用、監督・検査の合理化等）等イノベーションに資する技術について研究発表を行う部門です。



表彰される日吉ダム管理所の佐藤さん（右側）

【解説】水没式複合型曝気装置※

従来の深層曝気装置では、水中で溶解しない空気中の酸素などの気体は、余剰空気として、装置上部から排気ホースを介して大気中に放出していましたが、水没式複合型曝気装置は、余剰空気を散気装置で水中に放出させることにより、浅層曝気装置と同等の機能を追加しました。

この装置は、深層曝気機能と浅層曝気機能を併せ持つ、新しい曝気装置です。

10. 「水都おおさか森林(もり)の市2012」で機構事業をPR

10月7日(日)の好天に恵まれた日、「大川端で森林浴!! 木にさわって、あそんで、たのしんで」をキャッチコピーに、今年も大阪アメニティパーク(OAP)、近畿中国森林管理局、毛馬桜之宮公園周辺を会場に「水都おおさか森林の市2012」が開催されました。

このイベントは、都市と森林を結ぶ川の役割や、森林や林業の大切さや木材利用の意識を都市の皆様にご伝えるとともに、大切な森林を未来に引き継いでゆくことを目指し、平成17年から開催されています。会場では、木や紙を使ったおもちゃ作りや丸太切り、ドラゴンボートなどの体験ブース、国産材・間伐材を使った展示ブース及び物産品などのコーナーが設けられ、当日は、約1万人の参加者で賑わいました。

関西支社も管内の施設紹介のほか、琵琶湖開発総合管理所のヨシ植栽などの環境保全の取り組みや、ダム湖に流入した流木を活用した堆肥について紹介するとともに、手作りのキッズダムカードの配布や約300名の方からアンケートをいただき、「機構が発電を独自にやっているのを知らなかった」、「水のありがたさや大切さがよくわかりました」といった意見を多くいただきました。



アンケート実施状況
【機構展示ブース】



手作りでカードを作成
【キッズダムカード】

11. ダムなど水源地周辺の「紅葉の見所」を紹介

少し寒さも感じられるようになり、秋本番の季節となりました。そこで、近畿の水源地における紅葉の見所を紹介いたします。季節を感じに、水源地へお出かけになってはいかがでしょうか。

水源地名	DATA	アクセス
・高山ダム (京都府相楽郡南山城村大字田山字ツルギ)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、特にダムから名張川上流月ヶ瀬付近までの紅葉が楽しめます。	名阪国道「五月橋IC」から、自動車約20分
・青蓮寺ダム (三重県名張市中知山)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、及びダムから上流香落溪の紅葉もすばらしいです。	名阪国道「上野IC」から、自動車約35分
・室生ダム (奈良県宇陀市室生大野)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、及びダム近くにある室生寺境内は、すばらしい紅葉が楽しめます。	名阪国道「針IC」から、自動車約15分
・布目ダム (奈良県奈良市北野山町)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺及びダムから下流の「府立笠置山自然公園」の笠置寺内にある「もみじ公園」は、木津川を見ながら紅葉を楽しむには最高の景勝地です。	名阪国道「針IC」から、自動車約30分 名阪国道「山添IC」から、自動車約20分
・比奈知ダム (三重県名張市上比奈知字熊走り)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、特にダム左岸天端広場周辺さらにダム下流親水公園の紅葉が楽しめます。	名阪国道「上野IC」から、自動車約35分
・一庫ダム (兵庫県川西市一庫字唐松)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、特に県立一庫公園の紅葉が楽しめます。	阪神高速「池田木部IC」から自動車約20分
・日吉ダム (京都府南丹市日吉町字中神子ヶ谷)	【例年の見頃：11月中旬～12月上旬】 貯水池周辺、特に府民の森、宇津峡公園の紅葉、さらに上流には常照皇寺の紅葉はすばらしいです。	京都縦貫道「園部IC」から、自動車約15分

12. 水源地マラソン紀行(その5)

いよいよマラソンシーズンの到来です。

まず出場したのは余呉湖健康マラソンです。このマラソンは一昨年に放送されたNHKの大河ドラマでおなじみ「江姫」のゆかりの地である余呉湖において10月14日に開催されました。

参加者は全部の種目合わせて1,700名と小規模な大会ですが、今年で33回を迎える歴史ある大会のわりに、京阪神から遠いこともあって参加者が少なく、知る人ぞ知る大会です。参加のきっかけは丹生ダム建設所のT設計課長から、大会の存在を知り、昨年参加したものです。

本格的なマラソンシーズン前に開催されることから、夏場に走り込んだ自分の調子を確認するうえでも良い大会です。大会には湖周7kmを1周するエンジョイコースと2周するチャレンジコース(14km:余呉湖2周)、それとファミリーで参加できる2kmコースがあります。

今年も昨年と同じチャレンジコースを走りました。確か昨年は同じコースで距離が15kmとなっていたのですが??今年と同じコースで距離が1km短くなっています。昨年出走した際、1周7キロのコースを2周走れば14kmのはずとの抱いていた疑問が一年ごしに解消されました。

さて、いよいよスタートです。この余呉湖は天女が湖のほとりに舞い降り、水浴びしたという伝説が伝えられておりますが、今日も大変穏やかです。沿道(家の軒先)では地元のおじいちゃんとおばあちゃんが孫を連れほのぼのとした応援をしています。静かな余呉湖の風景と「北近江の秋」を感じながら、終盤はなんとか失速することなく、さわやかにゴールです。記録はなんと昨年の記録より4分も縮まっています。距離が短くなったせいではと、ちょっと心配になりますが、確かに昨年と同じコースでした。

さて、この大会のもう一つの魅力は、長浜市余呉町の特産に触れられることです。大会ではうまいものコーナーが設けられており、地元のおそばやつきたてのお餅が安価で食べることができるほか、会場近くの道の駅では地元の農産物の販売、木之本町には名酒「七本槍」があります。今年もまた会場で地元のおろしそばを味わい、帰る途中で地元の農産物と名酒を買い、今年の夏の成果をかみしめ帰路につきました。

次回は一庫ダムマラソンの模様をお伝えします。

追伸:「ダムを走る男」のランシャツも完成。一庫ダムマラソンより着て走りますので、応援してください。



スタート地点



準備体操 ゆるキャラ登場



ランシャツ

(ダムを走る男)

編集後記

突然ではありますが、皆様エンディングノート（ending note（和製英語））というものをご存じでしょうか。

エンディングノートとは、自分が他界した際に、家族が混乱しないための自分の備忘録と言えれば分かり易いでしょうか。

エンディングノートは、暫く前から書店などでも販売され、1年ほど前には、映画「エンディングノート」が公開されたことも影響し、今では市・区役所や葬儀業者などから無料配布されるほど静かなブームとなっています。

エンディングノートの具体的な内容は、自分のプロフィール、預金（貯金）口座、クレジットカード、保険、口座引き落とし先や貴金属などのリストのほか、親族や友人の連絡先、延命治療の可否、自分の葬儀への希望などを記載します。また、遺産相続などの遺言についても記載できますが、公証証書遺言などと違い無効な遺言となります。

何故、私がエンディングノート（時々デスノートと言い間違えます…）の事を話題にしたかというと、義父が他界した際に、義父の諸々のことについて義母も義兄弟も全く分からず、大騒ぎした苦い経験と、私も二度目の成人式を○年前に済ませ、病死、事故死や痴呆になる確率も高くなったため、自分のエンディングノートを作ろうと決心したからでした。

エンディングノートを作る前に諸々の整理をしていると、子供の頃に初めて開設した懐かしい口座（貯金通帳）が出てきたり、友人の連絡先では「友達がいない！！」などと自分では認めたくない事実も明らかに…。

「備えあれば憂い無し」、縁起が悪いと言われそうですが、この機会に皆様もエンディングノートについてご一考されては如何でしょうか。

今回の話題とは直接関係ありませんが、自宅近くの公証役場に、思わず「ニヤリ」としてしまいう川柳が掲示されていたのでご紹介します。

<遺言川柳>

遺産分け 親不孝ほど よくしゃべり
土地をくれ 家も欲しいよ 親いらぬ
三兄弟 初七日終われば 三国志
遺産分け ただでもらうに 何故もめる
この次は 女房の親に 期待する
相続に くわしい叔父が 出てもめる
遺産分け 猫の額に 虎5匹
狭い土地 方程式でも 分けられぬ
最後まで 御世話したのに みな平等



※（現）三菱UFJ信託銀行が「遺言川柳」として募集された作品であるようです。

関西支社 利水者サービス課 内海（ウツミ）

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp



水資源機構ツイッターのURLは、
http://twitter.com/jwa_PR